

## 厚生委員会 視察研修レポート

平成24年10月18日

平成24年度から全市で始まった「廃プラスチック分別収集」。当委員会では、市内で回収された廃プラがどのように処理をされているのか、現場視察を行った。

柳川市の梱包圧縮施設を視察した後、熊本市の中間処理施設へ。ここは各種のプラントが集中している。広大な敷地内に



中間処理施設での視察風景



手作業での分別作業風景

轟音が響き、さまざまな素材の処理が行われていた。最後にリサイクルを行

う同市内の企業に赴いた。中央の管理棟を取り巻くように、作業別に4つの建屋が配置されている。機械化されてはいるものの、まだまだ手作業に頼らざるを得ない部分も多く、廃プラスチック分別収集が「便利を追い求めてきた代償」とすれば「費用対効果」の観点からも議会として注視していかねければならないと痛感した。

筑後市で回収された廃プラは、分別の状態が大変良く、市民の意識の高さを感じて帰路について

## 九州芸文館視察

平成25年4月11日

議会では、4月27日にオープンする九州芸文館を視察した。

この九州芸文館は、福岡県が筑後広域公園内に建設したもので、地域とともに歩む芸術文化交流施設として「芸術文化」「体験」「交流」を柱に事業を展開する。

全体は、本館、アネックス1、アネックス2の3つの建物で構成され、世界的にも有名な建築家



八女杉を使用したアネックス2  
公園に開かれた自然あふれる  
工房棟をイメージ

隈研吾氏の設計協力を受けたその建物は、独特で特徴的な造りとなっている。

施設内には、300人収容の多目的スペースの他、いくつもの教室があり、今後様々な講座が開催される。

一行は、八女杉をふんだんに使用したユニークな造りの施設の内外を興味深く、担当者の説明に耳を傾けつつ見て回った。開館後、歓声と時に静寂の入り交じる工房の作業風景を思いながら。

## 定例会傍聴者延べ数

	3月	6月	9月	12月
24年	43人	45人	54人	37人
25年	28人			

次回の定例会は、6月7日(金)からの予定です。インターネット中継も行っています。ぜひご覧ください。なお、3月議会のライブ(生)中継視聴者は延べ398人でした。

